

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301170	ボランティア活動A(介護等体験実習) Volunteer A	近藤 茂明 山田 陽平	専門	1	選択	2年集中後期 3年集中後期
科目の概要						
中学校教諭としての知識と技能を合わせもち、それらを中学校で主体的に活用することで、生徒の成長を支えることができるようになるために、2年次(2日間・特別支援学校)と3年次(5日間・社会福祉施設)で事前指導及び事後指導、学外実習を行う。						
学修内容			到達目標			
① 介護等体験実習の目的を知り、実習の意義を理解する。 ② 障がい者福祉及び高齢者福祉について学び、その基本概念を理解する。 ③ 多様なコミュニケーションの方法について学び、適切な方法を適用する。			① 介護等体験実習の目的と意義を説明することができる。 ② 障がい者福祉及び高齢者福祉の基本概念と実情について説明することができる。 ③ 適切なコミュニケーション方法を選択し、円滑にコミュニケーションを行うことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 現代教師養成研究会(編)「教師をめざす人の介護等体験ハンドブック」(大修館書店)						
他科目との関連、資格との関連						
資格との関連: 中学校教諭一種免許状(家庭)						
学修上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 学外実習当日の忘れ物や遅刻を防ぐために、学外実習に参加する前に必要な準備は怠らないようにする。 レクリエーションの準備は早めに、多めに行う。 			<ul style="list-style-type: none"> 学内の事前指導・事後指導に欠席する場合は事前に担当者へ申し出る。 学外の事前指導・事後指導に出席する。 資料やテキストを熟読したうえで実習に臨む。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 事前指導・事後指導における課題レポート及び実習日誌を評価対象とします。 上記の提出物が期限までに提出されない場合は「放棄」と判定します。
		②	✓	
		③	✓	
実習活動	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 実習先の評価を尊重します。 学内外での事前指導及び事後指導へ怠りなく出席するとともに、問題なく実習を終えられたことを評価します。 学内外での事前指導・事後指導及び実習中に遅刻、無断欠席、実習意欲の欠如、忘れ物などが確認された場合は「放棄」と判定とします。
		②	✓	
		③	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<p>(主体性) 到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。</p> <p>(実行力) 課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。</p> <p>(課題発見力) 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。</p> <p>(創造力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。</p> <p>(発信力) 整理した内容を的確な文章で表現できる。</p> <p>(傾聴力) グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。</p> <p>(規律性) 無断欠席、遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。</p>
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 問題なく事前指導・事後指導、実習を行うことができる。 レポートにおいて介護等体験実習の意義と目的を説明することができる。 レポートにおいて障がい者福祉・高齢者福祉の基本概念を説明することができる。 レポートにおいて実習先への関心、実習への強い意欲、実習でのレクリエーション計画やコミュニケーション方法に関する具体的な工夫がみられる。 上記 A(優)基準に達したことに加えて、実習前の事前指導の段階で、自分はどうのような問題意識を持って実習を行い、どのような視点で観察するかを明確にすることができ実習時の日誌においては感想ではなく考察を行い、実習後の段階でそれらの問題意識や観察の視点に対する考察を述べることで、すべてができれば S(秀)とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題なく事前指導・事後指導、実習を行うことができる。 レポートにおいて介護等体験実習の意義と目的を説明することができる。 レポートにおいて障がい者福祉・高齢者福祉の基本概念を説明することができる。 レポートにおいて実習先への関心、実習への意欲、実習でのレクリエーション計画やコミュニケーション方法がみられる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	2年次事前指導 ①特別支援学校における介護等体験の意義と目的 盲・聾・特別支援学校における介護等体験について、その意義と目的について理解する	講義 グループワーク	盲・聾・特別支援学校における介護等体験実習について、その意義と目的を説明することができる	(予習) シラバスの熟読、目標確認 (復習) 介護等体験実習の意義と目的に関するレポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
2週 /	2年次事前指導 ②実習先の概要と注意点 実習先の学校の概要と実施上の注意など、具体的な日程の確認等について理解する	講義 グループワーク	実習先の学校の概要と実施上の注意など、具体的な日程の確認等について述べる ことができる 障がい者福祉の基本概念を説明することができる	(予習) 関連資料の熟読 (復習) 障がい者福祉の基本概念に関するレポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
3週 /	2年次介護等体験実習 ①実習を行う 盲・聾・特別支援学校において介護等体験実習を行う	学外実習	盲・聾・特別支援学校において介護等体験実習を問題なく行うことができる	(予習) 実習内容の把握 (復習) 実習日誌の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
4週 /	2年次介護等体験実習 ②実習を行う 盲・聾・特別支援学校において介護等体験実習を行う	学外実習	盲・聾・特別支援学校において介護等体験実習を問題なく行うことができる	(予習) 実習内容の把握 (復習) 実習日誌の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
5週 /	2年次介護等体験実習 ③実習を行う 盲・聾・特別支援学校において介護等体験実習を行う	学外実習	盲・聾・特別支援学校において介護等体験を問題なく行うことができる	(予習) 実習内容の把握 (復習) 実習日誌の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
6週 /	2年次事後指導 実習をふりかえる 体験の概要などについてレポートにまとめ、自分の体験を見つめなおす	講義 グループワーク	体験の概要などについて考察することができる	(予習) 実習記録の整理 (復習) 体験の概要等に関するレポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力
7週 /	3年次事前指導 ①社会福祉施設における介護等体験の意義と目的を学ぶ 社会福祉協議会施設における介護等体験について、その意義と目的について理解する	講義 グループワーク	社会福祉協議会施設における介護等体験実習について、その意義と目的を説明することができる	(予習) 関連資料の熟読 (復習) 介護等体験実習の意義と目的に関するレポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
8週 /	3年次事前指導 ②実習先の概要と注意点を学ぶ 実習先の施設の概要と実施上の注意など、具体的な日程の確認等について理解する	講義 グループワーク	実習先の施設の概要と実施上の注意など、具体的な日程の確認等について述べる ことができる	(予習) 関連資料の熟読・整理 (復習) 高齢者福祉・障がい者福祉の基本概念に関するレポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	3年次介護等体験実習 ①実習を行う 社会福祉協議会施設において介護等体験実習を行う	学外実習	社会福祉協議会施設において介護等体験実習を問題なく行うことができる	(予習) 実習内容の把握 (復習) 実習日誌の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
10週 /	3年次介護等体験実習 ②実習を行う 社会福祉協議会施設において介護等体験実習を行う	学外実習	社会福祉協議会施設において介護等体験実習を問題なく行うことができる	(予習) 実習内容の把握 (復習) 実習日誌の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
11週 /	3年次介護等体験実習 ③実習を行う 社会福祉協議会施設において介護等体験実習を行う	学外実習	社会福祉協議会施設において介護等体験実習を問題なく行うことができる	(予習) 実習内容の把握 (復習) 実習日誌の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
12週 /	3年次介護等体験実習 ④実習を行う 社会福祉協議会施設において介護等体験実習を行う	学外実習	社会福祉協議会施設において介護等体験実習を問題なく行うことができる	(予習) 実習内容の把握 (復習) 実習日誌の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
13週 /	3年次介護等体験実習 ⑤実習を行う 社会福祉協議会施設において介護等体験実習を行う	学外実習	社会福祉協議会施設において介護等体験実習を問題なく行うことができる	(予習) 実習内容の把握 (復習) 実習日誌の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
14週 /	3年次介護等体験実習 ⑥実習を行う 社会福祉協議会施設において介護等体験実習を行う	学外実習	社会福祉協議会施設において介護等体験実習を問題なく行うことができる	(予習) 実習内容の把握 (復習) 実習日誌の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力
15週 /	3年次事後指導 実習をふりかえる 体験の概要などについてレポートにまとめ、自分の体験を見つめなおす	講義 グループワーク	体験の概要について考察することができる	(予習) 実習記録の整理 (復習) 体験の概要等に関するレポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性 創造力 傾聴力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力